

第一類 第十九号

衆議院・議院運営委員会議録 第四十一号

第一回國会

議院

運営

委員会

議録

第

四

十

一

号

議

錄

第

四

十

一

号

議

錄

(七一五)

昭和二十二年十一月十二日(水曜日)

午後一時四十分開議

出席委員
委員長 滝沼稻次郎君

酒井坪川 信三君
安平 鹿一君

森 三樹君
小島 徹三君

山口 喜久一郎君
田中 久雄君

中野 四郎君
事務総長 大池 真君

田中 萬逸君
龍造(第四九六號)

選舉法に關する陳情書(千葉縣野田
町高木虎尾)(第五四九號)

政策法に關する陳情書(千葉縣野田
町高木虎尾)(第五五〇號)

本委員會に送付された。

本日の會議に付した事件

運輸及び交通委員會の委員派遣承認
要求の件

隠退賃物資等の特別の委員會の委員
派遣承認要求の件

議院における證人の宣誓及び證言に
關する法律案起草の件

○選舉委員長 それでは開會いたしま
す。第一に、運輸及び交通委員會の委員
派遣の承認に關する件を議題に供しま
す。議長請問ですが、總長から御説明

を願います。

○大池事務總長 これはこの前に一應
留保して御研究を願うことになつてお
つたのであります。運輸及び交通委
員長より、四國、九州間の國營通航航

路の開設の詰題審査につき調査の必要
があるということで、井谷さん以下三
名が一週間、愛媛縣、大分縣等に行き

たい、こういう申出があります。

○滝沼委員長 御意見ありませんか。

○田中久雄委員 これは緊急突發的な
事項その他以外は、この議會中は許さ
ないということやなかつたのです。

○滝沼委員長 問題は、議案審議に必
要だから派遣してもらいたいといふ申
出なのです。

○大池事務總長 委員派遣を認める場

合は、委員會の審査調査が、派遣調査
以外の方法では不可能と考えられる場

合に、委員を派遣する天災地變等の突
發的事項について調査研究を要するも
のとが、立法上現地調査を絶対に必要
とするもの、この二つがあるわけで

す。今申し込まれているのは少くとも
前者ではありませんから、後者とし
て、立法上現地調査を必要とするもの、
こういう建前の方から來しているものと
思います。

○小澤(佐)委員 大體その必要性は認
めるけれども、なほその現在の委員會
の申出だけでは、ただちにこの前の申
合せ事項に該當するものとは思われな
い。議長において再調査の上、前に決
定したわく内にはいるものと認めた場

合には議長においてこれを許すとい
うことは、どうでしょう。

○滝沼委員長 それでは小澤君の御提
出のありました通りの取扱いはどうで
しょう。

○滝沼委員長 それではさよう決定い
たします。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 それではさよう決定い
たします。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○滝沼委員長 これは今の國會法に
よりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件を議題に供しま
す。議長請問であります。總長の説明を
あるだけあります。これは決算
等の審議の必要にも基きまして、國會
法に委員會が必要と認めたときには會
計検査院の出席を要求してその説明を
聽くことができるということになつて
おります。また會計検査院法の中にお
いても検査院の方から出席して要請を
する必要がある場合においては、議會
を願います。

○大池事務總長 これは委員長の加藤
さんから、九州地方における隠退賃物
資摘要状況を現地調査をしたい。明禮
君はか二名都合三名が九州地方に十日
間だけ行きたい、こういう申出であり
ます。

○滝沼委員長 この問題は委員長が
ら詳細な内容を承つてから審議するこ
とにして、きょうは留保したらどうで
しょうか。

○小澤(佐)委員 この問題は次會にする
ことを承ることにして、審議は次會にする
ことにして御異議ありませんか。

○滝沼委員長 それではもう少し内容
を詳しく見て、審議は次會にする
ことにして御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
よりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 次に通信及び事務補助
員手當等に関する件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
よりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 それではこの問題は、
國會法についていずれ改正をする事
項も出てまいると思うのであります
て、その場合を考えるということにし
て御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
によりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 それではこの問題は、
國會法についていずれ改正をする事
項も出てまいると思うのであります
て、その場合を考えるということにし
て御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
によりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 それではこの問題は、
國會法についていずれ改正をする事
項も出てまいると思うのであります
て、その場合を考えるということにし
て御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
によりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 それではこの問題は、
國會法についていずれ改正をする事
項も出てまいると思うのであります
て、その場合を考えるということにし
て御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

○大池事務總長 これは今の國會法に
によりますと、獨立官廳が衆議院の方へ
必要に應じてまいりまして發言をし得
する特別委員派遣の件について、事務總
長からその後の經過について御報告を
願うことにいたします。

○滝沼委員長 それではこの問題は、
國會法についていずれ改正をする事
項も出てまいると思うのであります
て、その場合を考えるということにし
て御異議ありませんか。

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○滝沼委員長 さよう決定いたしま
す

しておつたわけであります。それから議員の滞在手當、これが兩院の合同の運營委員會で額を決定する範囲のものと出し得る途を、法的措置をもつて立法したいという案が參議院の方から出ておつたわけでありまして、これについては大體從來御報告になつておる程度の交渉の結果、ほんと關係方面でも了解を與え得るような情勢になつておつたよう伺つておつたのであります。が、一昨日でありますか、午後二時に運營委員長と事務總長に来てもらいたいという關係方面のお話がありまして伺つたわけであります。そのときの案件の一番主要な問題は、あとで議題になりますする證人の偽證罪等に關する法律案と、それに對する先日差上げました参考案との關係で御説明がつたわけであります。が、一應の説明があつた後に、ただいま申し上げました三手當に關する法案について、向うの意見を申されたわけでありまして、これについては向うは結論を言われただけで、具體的にそれがいいとか悪いとかいふことを言つたわけではありません。この問題については十分慎重に研究した結果、一つのレコメンドをした。こういうことでありました。一つの勧告をしたいという意味だと思いますが、その結論だけを向うは言つたわけあります。それは現在の段階においては現在のまま、昇給等一切せしめないで、要するに現在のままでいつでもらいたいという結論であります。その理由といたしましては、公務委員會と中で、現在では一方においでは千八百

圓案を支持したいという一つの趣がある。これと今の議員の手當その他の引き上げる案とは矛盾があるようにも考へられる。従つてまだその結果がわからぬうちに議員の方だけでこれを上げていくということは、議員の全般的な信用を非常に害することになるであろうと考えられる。従つて今度の場合だけは一應このままにしておいたらどうであらうか。そこでそれに關して一つの考え方を言えど、兩院の決算委員會の合同審査會で、全面的に國會及び一般公務員の給與その他の手當等に關して一つの公正なる案を立てるように計畫してみたらどうか。もしそういうことをやるとすれば決算委員會がいいか、運營委員會がいいか、考え方はあらうが、決算委員會の方がいいのじやないかと考えられる。そこで、もしそういう會同審査會で一應の案が得られれば、それは一時的な案であつても、あるいは一つの大きな筋であつてもかまわぬので、四月一日までに報告をしてもらいたいと思つておる。その間に必要があれば公務員委員會の方と密接な連絡をとつて研究をしてみたらどうか。こういう話があつたわけであります。

○森委員長代理 ただいま事務總長から、通信手當並びに祕書の俸給並びに議員の滞在費の點について詳細なる報告がありましたが、これに對して御意見はありますか。

○笛口委員 通信費、滞在手當これはやらないとしても、事務補助員の問題は相當深刻なんです。これはよそどうか知りませんが、私の方あたりは相當痛切に希望を出して來ているのであります。もしこれがいかぬといふことになると、事務補助員はほとんどみなやめはしないかと思う。また今の状態で食つていけないことはつきりしている。そうちかといってその人に毎月いくらづつ補助するということも現在は辛い状態にある。それで事務補助員の問題は全體について考えていただきたいと、了承するのはどうかと思う。

○中野(四)委員 事務補助員だけに考慮してもらつたらどうか。

○大池事務總長 この問題は衆議院だけの運營委員會で始めたことではないので、兩院の運營委員會の合同審査會で全員一致できまつたことであるから、ただいまの御報告は單に結論だけであつて、内容的にこゝがいかぬ、あなどがいかぬというならば、説明の餘地もあるのですが、この結論について、參議院に對しても、いずれ御報告がありませう。そこで兩院の合同審査會できまつたことであるから、兩院でまた密接にその報告について考慮した上、なろうと思いますから、その點は衆議院側としては一應承つておく以外に方法はないということでお歸つたわけです。そのときに附け加えて申されたこと

は、これらの手當を一時このままストップさせておく結果、その間においてせつば詰まつた餘儀なき場合はと、こ^{ういうよ}うな言葉で言われましたが、せつば詰まつた餘儀ない場合には、一回限りのボーナスを支給するようなことを考えてはどうか、そういうことであれば十分考究してなるべく盡力をしたいということを言わされました。この點は重要でありますから、附け加えておきます。

○中野(四)委員 その場合に、ボーナスについて額面は制限をされておらないですね。

○大池事務總長 何とも言われませんでした。

○中野(四)委員 やむを得ない場合に、月二千五百圓くらいになるようにしてボーナスを出してやればよいじやないか。

○森委員長代理 私から申すのもおかしいですが、この問題はわが黨の代議士會等ではしばゞ質問されたり、各派交渉委員として、われゝがこの問題について刻々の報告をしているわけです。大陸見透しとしては、國會の最終日ぐらいまでは皆さんの手もとに渡るというような含みある言葉まで言つてゐるわけですから、もしこれがおじやんになつたとすれば、失望して、われわれが行つて報告するのは何を報告するかということになる。今事務總長がボーナスといふよなことも雪われたが、どうしてもできなければそういう形式ででもして支給してやらないことは、年末を控えて、今事務總長がお話をになつたようにせつば詰まつた場合と言えるから……

○小島委員 合同審査會を開いてこの

○大池事務總長　さらにその際一應議院運營委員會へ詰つてもらいたいといふことで、別の話がありました。それは豫算委員會の運營に關して、最近の豫算委員會の報告等を見ると、關係に對して各派から質問がされるけれども、他の常任委員會でされた質問を繰返しておるよう見える。一例を言えば六・三制問題にしてもそうである。これでは常任委員會として、たくさんの委員會を設けた趣旨に反するのではない。そこでむしろ今のようなやり方を改めて最初から分科會に移して、分科會においては必ずしも所管の大臣の出席を求めるべくとも、政府委員なり當說官吏の説明でこまかく數字的に議論をして、場合によれば所管の常任委員長を呼んで、その委員會において質疑應答になつた事項を聽取してもいいじゃないか。そして各分科會の報告があつた後に總會に移つて二日間くらい全關係を呼んで全般的な一般質問をやるのが適當ではないかと思うが、その點はいかんという委員會の運營に對する批判をしておられた。それについて淺沼委員長も一應議會の運營ということが議院運營委員會の所管事項ではあるけれども、一旦各委員會に付託された事件について運營委員會がいろいろ指圖するところは越縹であろうという觀點から今まで委員會として取上げた事例はないが、今のことき問題があるならば、豫算委員長、理事等と十分懇談していただく方が穩當ではなかろうかということを述べおられた。それに對して先方では、各常任委員會をこしらえたことについての議會全般の運營というものは、運營

委員會が監視をし、十分これに對する
關心をもつていかなければならぬことで
あるから、初めてのこといろいろ／＼あ
るであらうが、十分諸般の點を考慮し
て、運營委員會で各常任委員長等の意
見も徵して、將來目途をつくつて、そ
れに基いて運行するようにはかつては
どうかという意見があり、委員長とし
ては、それについては一應委員會の諸
君にも御報告して善處したい。それか
ら政黨法が今會期中に通過するという
情勢であるなら、それに關連して選舉
法にも及ぶであらうが、萬一通過しない
といふ状況であるならば、想像を加え
て前提を言うのはいけないが、もしそ
ういう状況なら、選舉法の第十條、政
務官の問題だが、これだけはぜひ削除
してもらいたいという強い要望があつ
た。

ると思う。その取扱いについて……

○小島委員 承つておくより仕方がない。しかし實際そういう感じがする。員會で質問したことを、豫算委員會でむし返し／＼やつておる。これについて先ほど御説明があつたように、理事に集まつてもらつて懇談してもらう。ということはいかがでしょうか。

○小島委員 それは淺沼君が歸つてから相談しよう。

○森委員長代理 政策法の問題について御説明があつたが、政務官は五月三日までに云々といふのは、政務官は一年間という期限附でおいたので、新法實施から一年を考えてどう言つたのではないか。

○小澤(佐)委員 政務官を削るなり。國務大臣はどうなるか。

○小島委員 國務大臣はなれるということにしたらしい。

○大池事務總長 政務官がなくなるば、政黨と政府との連絡がなくなる。かりに連絡のものが必要だとすれば、の連絡のものは議員が當るようになりますのか、政府の中に連絡員を設けるような案をつくるのか。それも考えなければならないねと思う。この問題が起つた時、政務官を大臣がこれかいいとうので任意に任命するのがおもしろいということも言つており、むしろ政務官とそういうものが議院との連絡に必要なものであれば、議院みずから推してこれに富らせるならばまだわが政務官といふことを言つておつた。また有能な議員がそんな便い走りをしないで、むしろ政府のうちに連絡員を設けさせ、それが連絡するようにしたらいいじゃないかとも言つておつた。そん

○小島委員　これも淺沼君が来てから相談しよう。
○大島事務總長　それから國會法の一部を改正する法律案という形で、参考案をお手もとに差上げたはずであります。ですが、これは過般證人の偽證罪法案審議の際、數案起草されましたので、これらにつき先方も十分検討した結果、最善と思われる一つの参考案ができたから、それを十分研究した上で参考にしてもらいたい、こういう意味で提示されたものであります。衆議院から出してありまするのは、獨立法として出す形になつておるわけであります。が、向うは國會法の一部改正で来ておるわけであります。これは形としてはどこまでも國會法の一部改正が正しい、そこで國會法の中に證人に関する章を「章設けて、その中で官署の問題を片づけることが一番適當であると思うから、獨立法にすることの方がまずいいじやないか」という議論がありました。この點淺沼委員長と再々討議した結果、實は國會法の一部改正の法案の形でやる方がいいか、獨立法にするがいいかということを十分考慮の結果、獨立法の方をとつて、國會法の一部改正の方をとらなかつたのは、國會法の一部改正ということになれば、他に國會法に手をつけたいような問題が相當ある。しかも參議院の方へ行つた場合に、ここで申し上げてよいか悪いか知りませんが、例の訴追委員會の構成問題等が起つてきて、せつかくこの案件がはなはだしく遷延されるというよろくなことがあつてはいかぬからと、いふ

た。しかし、この點を言ふと、大体のところは、この問題が、國會法の一部改正の問題であります。その結果それならば獨立にするか、一部改正にするかは議院にお任せるけれども、國會法の一部改正の法案の方が正しいという原則だけは認め、將來國會法を全面的に改正するという場合には、今の獨立法にしたものを廢して、國會法の中に盛り込むようにしたらということになります。そこで試案はこちらになるべく忠實に翻譯した結果意味が通らないといふか、きわめて不明瞭な點があるわけありますので、この用語をそのままとつてやらいたいという意味ではなく、なるべくこういう筋のものが、むしろ國會の權威を守るという一點と、個人の利益をどこまでも保護したいと、いう點と、兩方を勘案した結果、櫻營な様であろうと思うから、その點を考慮してもらいたいということになります。大陸これについて私どもの疑問とすら點、それから向うと話合いしたことだけを申し上げまして、今日すぐ決定するということはとうてい困難だろうと思ひますから、その中でこの條項はどうとうていられないとか、この條項はこの意味をとつた方がよいじゃないかなどと、各議院の議長又は委員長は、その點があれば、そういう點をお聞きください。かせ願えれば、非常に都合がよいと思ひます。一番最初の第六條の二といふものは、「各議院の議長又は委員長は、審査中の事件又は事項について證人に宣誓をさせることが出来る。」事件及び事項とありますが、要するに審査中の事件で國會法の建前から言えば、いかげであります。「(合同審査會の會長と含む)」とありますのは、各議院の議長と委員長のほか兩院が合同審査委員會を開いたときに、そこへ呼び出した場合

るために入れてあるわけであります。それから二項は、何のことか、初めはわからなかつた。「各議院の議員は、その院の會議又は委員會に於て審議中の事件につき、證人に宣誓させる事が出来る。」この一項と二項との闘争がわからなかつたのであります。向うと話をしてみたら、よくわかりました。各議院に議長や委員長がいる場合には、議長や委員長に代つて議員が主宰しているというようなときでもできる。こういう意味に解釋しておりますので、結局第二項は削除して、やらぬという結論になつたのであります。

それから第百六條の三は、別に内容的には問題はありません。「證人が、虚偽の證言をしたときは、三年以上十年以下の懲役に處する。」ということと、二項もこちらにすでに書いてあることと同じであります。

第百六條の四是、問題は證人に與んだ場合に、書類の提出までこの中へ含めてある。衆議院の從來の案では書類提出は認めておりませんでしたが、書類提出の要求権まで認めて、範囲が廣くなつてゐるというだけであります。

第百六條の五は非常に長つたらしい法文で、實はほつきりわからぬのであります。が、結局こちらは民訴を準用し、向うは刑訴の方をとつてゐる。この第百八十六條、第百八十七條、第百八十八條といふ三條は、こちらでは從來御説明申し上げました民訴の四箇條に當るもので、別に内容は變つておりません。第百八十九條も、これは民訴の中にあります。問題はありません。但書以下が非常に長くあります。この

點はやはり民訴の中にも公務員等が祕密事項の證言をする場合には云々となり、それは正當の事由の中にわれ／＼の方の案でもはいつてゐるのであります。その理由を承認することができない場合には國家の利益に重大な悪影響を與える旨の内閣の説明を要求ができる。この要求後十日以内に聲明を出さないときには、證人は證言をしなければならないというような、いろ／＼具體的な事實がはいつてゐるのであります。それから第百六條の六でございますが、それは過般議院または委員會がその多數決をもつて違反したものかどうかということを認定して告發なら告發をするということになつた案を、私の方で考えて出したこともあります。それはおかしい、偽證罪といふものは、だれでもやれるものであるのに議院または委員會の多數決で、多數だけの認定によつてやるということはいかぬというので、あの條文は除かれただけであります。拘うの方からまたこれがを入れてまいつたのであります。これについては浅沼委員長も長い間かつて、こちらの方で討議を繰返した事實を述べて、向うと議論をしたわけでありますが、結論的に言えは、向うとしては、いやしくも證言というものは、議會内の證言で、議會内の事柄である。議會内の事柄をそのハウズとして上げるということである限りは、ハウズのマジヨリティ、もしくはコミニティのマジヨリティで決定すべきもので

あるということを「一步も譲らず向うは主張しております」。そこでそれならばハウスの方で取上げなかつた事實、少數の方が主張したけれども、少數が通らずに委員會でもこれを認められなかつた事實はそのままになつてしまつたが、どうも方法がないのかということいろいろ／＼と話をしたときに、個人的にある事實を知つておつて、その個人がある事柄も取上げてこれを檢察廳に告訴をするという場合は、それは個人的な行動であつて、そのハウスの行動でないのだから、そんなことはハウスマの規定に書く必要はない。ハウスマにして證言をしたことが偽證であるといふことで取上げる限りは、ハウスマでの決議が必要であるということであつたのであります。そこで「三行目の「地方檢察廳の長に移して起訴させなければならぬ」ということはおかしいじやないか」ということをそこで議論したわけでありまして、告訴するかしないかということは、檢察廳が決定することだ、こちらから起訴させなければならぬというふうにきめつけてしまうことは、今後の法の建前から見ただりしてしまつたと思う。そうすると起訴するかしないかという事柄が二段に決定される形になつて、たとえはハウスマす起訴することは行き過ぎで、おかしいじやないかということでいろ／＼議論しました。その點については、起訴といふ言葉は、向うの意味としておる事柄がここにいう法律語の起訴でなくして、告発といふような意味であるかもしませんの

で、事柄をこういうう隙に考えてもらいたい。されば、言葉自體はこの言葉でなければいかぬということを主張せねから十分考えてくれということであつたので、この起訴の問題は私の方は告發という意味でマジョリティの議院の決議によつて告発するといふ意味に解釈して歸つてしまひました。最後の條文はあまり意味のないことだと思つましたが向うは非常に大切なことだということを言つておつたので附け加えておきます。従つて各條文のうちどるべき事柄といたしましてお考え願いたいのは、書類の提出といふものまで含めると、一箇點と、こちらでは、理由なくして出頭を拒んだり證言を拒んだ場合には三千圓以下となつておるのを、この中に百六條の方を見ると、審問の答辯を拒むときは一月以上一年以下の禁錮という重いもの、または三千圓というが一箇圓に上つておりますし、一萬圓以上の過料になつております。しかもこれを併科することができるとなつております。この點は一般の他の場合には一千圓以下というのをこちらが三千圓にしたことさえもいろ／＼議論があつたけれども、彈劾裁判所の方で三千圓までいつたから、同じ國會の方としてはそこまで上げたのだといふのに禁錮にもつていくことになる。國會の證人の偽證罪は非常に重くなつて、一般的の偽證はそれ以下のものになります。そういう國家法律として不均衡な点はどういうものであるかといふよう質問をしてきたのであります。向うは、最高の機関であるからそれくらいのことはよくないかといふ點と、この程度にしなければ目的を達せられないと、二點だけでありました。

ういう不釣合の點を採用していいがどうかという點を御考慮願いたいという點だけあります。

○森委員長代理 ただいま事務総長から證人等の問題について、國會法の一部を改正する法律案として立案するかどうかという問題等について、詳細な説明があつたが、これについて御意見を伺います。

○森委員長代理 今日は一應研究させていただくということでおいかがでしょうか。

○森委員長代理 それでは、ただいまの笛口君の御意見のように、本日はこの程度にしておいて、研究をしておいでいただきたい。

午後二時二十七分散會

一八四